**UNIT 12**

１ Thousands of books and articles have been written / about the staking out and guarding of territories / by animals, birds, fish and primates, / but only in recent years / has it been discovered / that man also has territories. // When you understand the implications of this, / you can gain enormous insights / into your own behavior, / and the face-to-face reactions of others / can be predicted. //

何千もの本や記事が書かれてきた　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　なわばりを確保することと守ることについて

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　動物，鳥類，魚類，霊長類が　　　　　　　　　　　　　　　　　　　しかし，やっとつい最近になって　　　　　　知られるようになった　　　　　　　　　　　人間にもなわばりがあることが　　　　　　　　　　　　　　このことが暗示するものを理解できれば　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　あなたは非常に大きな洞察を得ることができる 　　　　　自分自身の行動に対する　　　　　　　　そして面と向かったときの他者の反応を　　　　　　　　　　　　　予測することができる

ほとんどの動物はある特定の空間領域を持っている　　　　　　　　　　身の回りに　　　　　　　　　　　　自分個人の空間領域であると彼らが主張する　　　　　　　　　　　　　　　その空間領域がどこまで及ぶのかは　　　　　　　　大きく左右される　　　　　　環境がどれほど混み合った状態であったかに　　　　　　　　　　　　その動物が育った　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　そしてその地域の生息密度に　　　　　　　　　　　　　　　　そのため，個体のなわばりは拡大したり縮小したりしうる　　　　　　　　　　　　その場所の環境によって

ほとんどの動物と同様に　　　　　　　　人間はそれぞれ独自の携帯可能な「空気のシャボン玉（のようなもの）」を持っている

　　　　　　　　そして彼らはそれを身につけて動いている　　　　　　　　　　　　　その大きさは決まる　　　　　　　　　　人口密度によって　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　彼らが育った場所の　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 個人の空間領域は，それゆえ文化的に決定される　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　ここでは「空気のシャボン玉」の半径について論じていく

　郊外の中流階級の人々の周りの　　　　　　　　　 　　　　　　　　オーストラリアや英国，北アメリカのような場所に住んでいる

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　あるいは，シンガポールのような文化が「西洋化されて」いる場所に（住んでいる）

1． 6インチから18インチ（15～45センチメートル）までの間の親密領域　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　すべての領域の距離の中で　　　　　　　　　　これは群を抜いて最も重要である　　　　　　　　　　　　なぜなら，人が守るのがこの領域だからである　　　　　　　　　　　　まるでそれが自分の所有物であるかのように　　　　　　　　　　　　　　感情的に自分に近い人間だけが

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　入ることを許される　　　　　　　　　　　　これらには，恋人，親，配偶者，子供，親友，親戚，そしてペットが含まれる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　下位の領域も存在する　　　　　　　　身体から6インチ（15センチメートル）まで及ぶ　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　入ってくることが許される　　　　　親密に身体が触れ合っている間だけ　　　　　　　　　　　　　　　　　これは接近した親密領域である

2． 18インチから48インチ（46センチメートル～1.22メートル）までの間の私的領域　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　これは距離である　　　　　　　 　　私たちが他者から離れて立つ　　　　　　　　　カクテルパーティや社内パーティ，諸々の社交の場，友達の集まりに

２ Most animals have a certain air space / around their bodies / that they claim as their personal space. // How far the space extends / depends mainly / on how crowded the conditions were / in which the animal was raised / and the local population density. // So personal territory can expand or contract / depending on the local circumstances. //

３ Like most animals, / each human has his or her own personal portable ‘air bubble,’ / which they carry around with them; / its size is dependent / on the density of the population / in the place where they grew up. // *Personal Space* is therefore culturally determined. // We’ll now discuss the radius of the ‘air bubble’ / around suburban middle-class people / living in places such as Australia, Great Britain, North America / or anywhere a culture is ‘Westernised’ such as Singapore. //

４ **1. The Intimate Zone** between 6 inches and 18 inches (15-45 centimetres). // Of all the zone distances, / this is by far the most important, / as it is this zone that a person guards / as if it were his or her own property. // Only those who are emotionally close to us / are permitted to enter. // These include lovers, parents, spouse, children, close friends, relatives and pets. // There is a sub-zone / that extends up to 6 inches (15 cm) from the body / that can be entered / only during intimate physical contact. // This is the close *Intimate Zone*. //

５ **2. The Personal Zone** between 18 inches and 48 inches (46 cm-1.22 m). // This is the distance / that we stand from others / at cocktail parties, office parties, social functions and friendly gatherings. //

６ **3. The Social Zone** between 4 and 12 feet (1.22-3.6 m). // We stand at this distance / from strangers, / the plumber or carpenter doing repairs around our home, / the postman, / the local shopkeeper, / the new employee at work / and people whom we don’t know very well. //

おいて

3． 4フィートから12フィート（1.22～3.6メートル）までの間の社会生活領域 私たちはこの距離を置いて立つ

見知らぬ人から 家の周りで修理をする配管工や大工（から）

郵便配達員（から） 地元の小売店の店主（から） 職場の新入社員（から） そしてあまりよく知らない人々（から）

4． 12フィート（3.6メートル）以上は，公衆領域である 私たちが大人数の人間に話をするときはいつでも

これが快適な距離である 私たちが選んで立つ

あなたが人々にあなたの周囲で安心してくつろいでほしいと願うならば　　　　　　　　　　　黄金律は「距離を保つこと」である

私たちと他者との関係が親密であればあるほど 私たちは彼らのより親密領域内で行動することを許されるだろう たとえば 新しく入った職場の従業員は最初は感じるかもしれない 他の職員が彼に対して冷たいと

しかし，彼らは彼を社会生活領域にとどめているだけなのだ　　　　　　　　　　　　　　　　彼をよりよく知るようになるまで

　　　　　　　　彼が彼らによく知られるようになるにつれて　　　　　　　　　　　　　　彼らの間の距離は狭まる

　　　　　　　　　　やがて彼が彼らの私的領域で行動することが許されるまでに

　そして　　場合によっては　　　　　　彼らの親密領域内（での行動が許されるまで）に

７ **4. The Public Zone** is over 12 feet (3.6 m). // Whenever we address a large group of people, / this is the comfortable distance / at which we choose to stand. //

８ If you want people to feel comfortable around you, / the golden rule is ‘to keep your distance.’ // The more intimate our relationship is with other people, / the closer they will permit us to move within their zones. // For example, / a new work employee may initially feel / that the other staff members are cold towards him, / but they are only keeping him in the Social Zone / until they know him better. // As he becomes better known to them, / the distance between them decreases / until eventually he is permitted to move within their Personal Zones / and, / in some cases, / their Intimate Zones. //